

平成28年7月14日

防除情報

長崎県病害虫防除所長

平成28年度病害虫発生予察防除情報第6号

普通期水稲 トビイロウンカ、コブノメイガの防除対策について

現在の飛来・発生状況は下記のとおりで、トビイロウンカについては、7月13日に平年並の飛来がありました。向こう1か月の気温は平年並または低い確立40%であり、今後の発生はトビイロウンカ、コブノメイガともに平年並と予想されますが、圃場での発生に注意して防除の徹底をお願いします。

また、梅雨明けまでは今後も継続的に飛来の可能性があるので注意してください。

記

1. 飛来・発生状況

(1) トビイロウンカ

ア 6月19日、6月22～24日、6月27日、7月13日に予察灯（諫早市）で誘殺を認め、これまでの主要な飛来は7月13日であった。ネットトラップ（諫早市）では、確認していない（表）。

イ 7月上旬の巡回調査（85筆）の結果、株当たり虫数は0.0頭（平年 0.0頭）、発生圃場率は1.2%（平年 5.4%）であった。

ウ 7月3半旬の県予察圃場（無防除）調査の結果、発生を認めなかった（平年 寄生株率4.5%、株当たり虫数 0.0頭）が、7月14日の調査では、400株のうち21株でトビイロウンカの成虫が認められた。

(2) コブノメイガ

ア 6月5半旬、6月6半旬を主体にフェロモントラップ（諫早市）への誘殺が、平年よりやや多く認められた（表）。

イ 県内各地（長崎市琴海戸根、佐世保市、壱岐市、対馬市、波佐見町）のフェロモントラップでの誘殺は、6月5半旬、7月2半旬に壱岐市、6月6半旬と7月1半旬に対馬市で誘殺を確認した。

ウ 7月上旬の巡回調査（85筆）の結果、食害株率は0.1%（平年 0.8%）、食害発生圃場率は2.4%（平年 9.5%）とやや少なかった。

エ 7月3半旬の県予察圃場（無防除）調査の結果、食害株率は30.0%（平年 5.4%）であった。

2. 防除対策

(1) トビイロウンカ

ア 本虫の今後の発生予測は別紙図のとおりであり、これまでの主要飛来を対象とした基幹防

除の適期は第一世代幼虫を対象とした7月6半旬～8月1半旬と予想される。

- イ 株元を好んで寄生するので、株元へ十分に薬剤が付着するよう丁寧に薬剤散布を行う。
- ウ 圃場間や同一圃場内でも偏って発生していることが多いので、圃場の見回りを徹底する。
- エ 今後の圃場での発生状況に十分注意し、7月下旬～8月上旬に100株当たり20頭以上の成虫の寄生が認められる場合、幼虫ふ化揃い期に防除を行う。

(2) コブノメイガ

ア 本虫の今後の発生予測は別紙図のとおりであり、薬剤散布は、粉剤・液剤では成虫発生最盛期の7～10日後、粒剤では成虫発生最盛期に行う。

イ ロムダン（テブフェノジド）粉剤・液剤散布の場合は残効が長いので、防除適期は8月1～2半旬、パダン（カルタップ）粉剤・液剤散布の場合は、防除適期は8月1半旬と予想される。

また、パダン（カルタップ）粒剤散布の場合は、7月6半旬と予想される。

ウ 圃場間や同一圃場内でも偏って発生していることが多いので、圃場の見回りを徹底する。

表 トビイロウンカ・コブノメイガの誘殺状況

月・日	トビイロウンカ							コブノメイガ	
	諫早				佐世保	北有馬	岐宿	諫早	
	予察灯①	予察灯②	予察灯③	ネット	予察灯	予察灯	予察灯	フェロモン トラップ(A)	フェロモン トラップ(B)
6/16	0	0	0	0	0	0	0	2	0
6/17	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6/18	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6/19	2	0	0	0	0	0	0	0	0
6/20	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6/21	0	0	0	0	0	0	0	1	0
6/22	2	1	0	0	0	0	0	7	0.5
6/23	1	0	1	0	0	0	0	10	0.5
6/24	1	1	0	—	0	0	0	35	1
6/25	0	0	0	—	0	0	0	8	1
6/26	0	0	0	—	0	0	0	50	12.5
6/27	1	0	0	—	0	0	0	6	5
6/28	0	0	0	—	0	0	0	3	1
6/29	0	0	0	—	0	0	0	4	0.5
6/30	0	0	0	—	0	0	0	3	0.5
7/1	0	0	0	—	0	0	0	0	0
7/2	0	0	0	—	0	0	0	2	0
7/3	0	0	0	—	0	0	0	2	0.5
7/4	0	0	0	0	0	0	0	1	0.5
7/5	0	0	0	0	0	0	0	2	0
7/6	0	0	0	0	0	0	0	5	6
7/7	0	0	0	0	0	0	0	3	1
7/8	0	0	0	0	0	0	0	0	0.5
7/9	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7/10	0	0	0	0	0	0	0	5	0.5
7/11	0	0	0	0	0	0	0	0	0.5
7/12	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7/13	2	3	3	0	0	0	0	0	0

—：未調査

コブノメイガ：フェロモントラップA（4/20 植え早期水稻に1個設置）

フェロモントラップB（6/3 植え普通期水稻に2個設置の平均値）

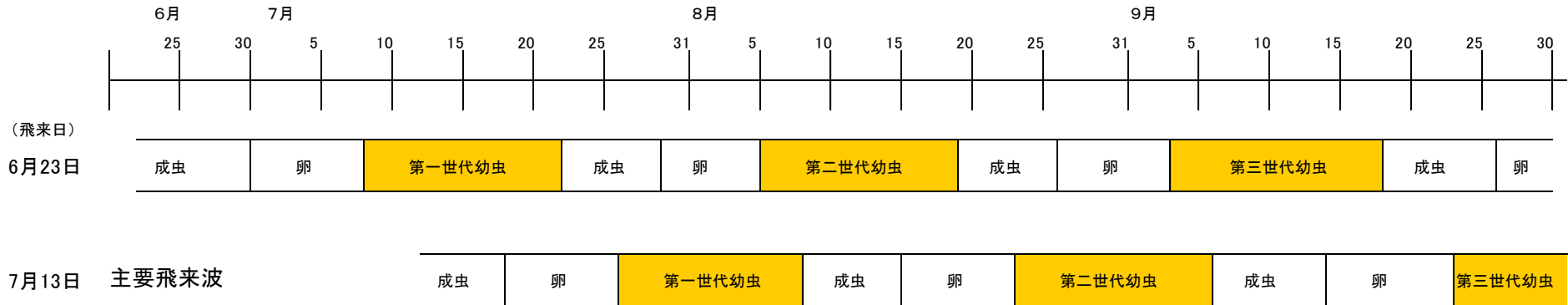
-
- 6月1日から8月31日までの3か月間を「農薬危害防止期間」と定め、農薬事故を防止する運動を実施しています。
 - 水稲穂吸汁性カメムシ類防除のため水田に散布する殺虫剤により、「蜜蜂」に被害が生じる可能性がありますので、十分な配慮をお願いします。
 - 長崎県病害虫防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。
「長崎県病害虫防除所ホームページ」 アドレス：<http://www.jppn.ne.jp/nagasaki/>
 - この情報に関するお問い合わせは、電話でお願いします。
長崎県病害虫防除所 TEL：0957-26-0027



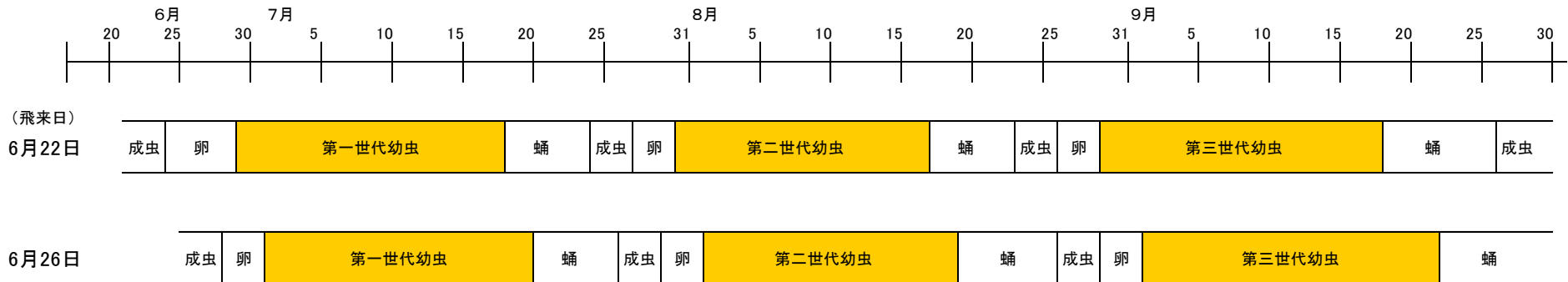
(図) トビイロウンカ、コブノメイガの発生予測図(平成28年)

H28.7.14

1. トビイロウンカ



2. コブノメイガ



※ 発生予測の気温は諫早市貝津町(農林技術開発センター)のデータを用いた(7月12日まで実測値、13日以降は平年値)